Danelectro®



Free Speech Talk Box
DTB-1 取扱説明書

音楽を口元で楽しむ時代がやってきました！

他のトークボックスと違い、別マイクやＰＡシステムや２台目のアンプは必要ありません。
他のストンプボックス同様、ただ単純にギターとアンプの間に繋げるだけです。
さぁ、チューブを口に入れてRock "n" Roll！

※DTB-1は他のトークボックスよりチューブからの音量は小さめですので、
従来の操作法、同様の音質とは異なります。

原理: **ギターシグナルがインプットジャックに届きます。FREE SPEECH内でシグナルが拡大されDan-O-Tubeを通して口へ送られます。
一旦、口へ送られた後は自由に口を動かして下さい。
Dan-O-Tubeに接続された2つのミニマイクが音声を拾います。
マイクがペダルに音声を送り返し、ペダルのアウトプットジャックがその音声をアンプへと送ります。**

■セットアップ

1. **Dan-O-Tubeの片方のチューブポートの先端にはマイクが接続されています。**

2. **チューブポートは標準サイズのマイクホルダーへ簡単に装着できます。**

3. **もう一方のDan-O-Tubeをペダル上の取り付け位置に繋いで下さい。**

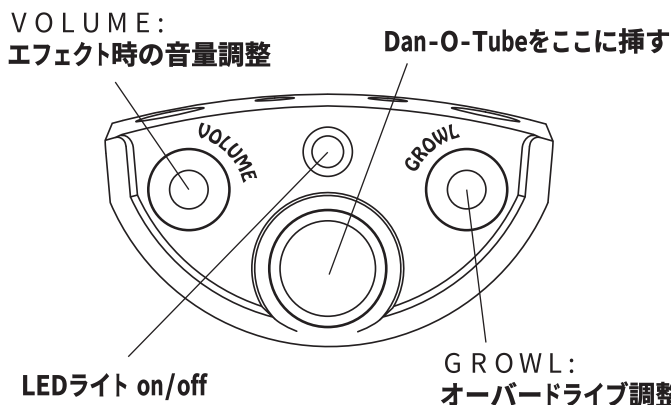
4. **ペダル背面にあるMICジャックにマイクケーブルを繋いで下さい。**

5. **インプットジャックに楽器のケーブルを繋いで下さい。(ケーブルがインプットジャックに繋がるとバッテリーが稼働します)**

6. **アンプケーブルをアウトプットジャックに繋いで下さい。**

7. **ACアダプターを使用の場合、DC 9-volt ジャックに差し込んで下さい。
電池を使う場合は9Vバッテリーを製品本体の底部にあるバッテリーボックスに入れて下さい。**

稼働時、LEDライトが点灯します。



操作機能:
**VOLUME: アンプへ送られるエフェクト(マイクレベル)を調整します。
GROWL: オーバードライブを調整します。**

**※喉に休息を与えましょう。
声を出さずに言葉を発する口の形だけ作ってみて下さい。後はあなたのギターが話しをしてくれます。**

恥ずかしがらないで！5ｾﾝﾁ程チューブを口の中へ入れてみて下さい。口元がマイクに近付けば近付くだけ快い音が生まれます！

FREE SPEECHは先行品と同じくPAシステムを通しても使用できます。Dan-O-Tubeを口に入れた状態からなら、どんなサウンドシステムでもボーカルマイクを通せば簡単です。(Dan-O-Tubeに付いているマイクは取り外し可能です)

FREE SPEECH/Free Movement:
**Tube Portをマイクスタンドから取り外し、Dan-O-Tubeをギターストラップに取り付ける事ができます。これでもうマイクスタンドに縛り付けられる事はありません。
あなたとFREE SPEECHは鳥の様に自由です。
(Dan-O-Tubeの長さ分の自由ですが)**

**特徴ある声で喋りたい時？
他のエフェクトペダルをFREE SPEECHと直列に繋ぐ事で多種多様なアクセントを追加する事ができます。**

注意:
**ハイゲインサウンドとデカイ音のアンプは非常に魅力的なものです。(正しく使えばですが)
Dan-O-Tubeが口元にない時はFREE SPEECHを切っておいて下さい。マイクのチューブがアンプのスピーカーに近いとハウリングが起こる事があります。
(MINIシリーズのDJ-14, Fish & Chips7 Band EQはハウリングを軽減します)**

**さぁ、これで話す事が出来ます。
お楽しみあれ！**

■仕様
**電池:9V乾電池 (S006P/6F22)
Danelectroの"Vintage Power Source"を推奨します。
・外部電源: +-◐- 9V
ノイズ混入を防ぐため必ずレギュレーターを内蔵したACアダプター又はパワーサプライをお使い下さい。**